



CLI を使用します

ONTAP Select

NetApp
February 02, 2026

目次

CLI を使用します	1
SSHを使用したONTAP Select Deployへのサインイン	1
CLIを使用したONTAP Selectクラスタの導入	1
ステップ1: 展開の準備	1
ステップ2: ライセンスファイルをアップロードして登録する	2
ステップ3: ハイパーバイザーホストを追加する	3
ステップ4: ONTAP Selectクラスタを作成して設定する	5
ステップ5: ONTAP Selectノードを構成する	6
ステップ6: ONTAP Selectノードにストレージを接続する	8
ステップ7: ONTAP Selectクラスタを導入する	10
ONTAP Select環境のセキュリティを確保	11
Deploy管理者パスワードの変更	11
ONTAP Selectノード間のネットワーク接続を確認する	11
CLIを使用してONTAP Selectクラスタを管理する	12
ONTAP Select Deploy 構成データをバックアップします	12
ONTAP Selectクラスタを削除する	13
ノードとホスト	13
ONTAP SelectのVMware ESXi 8.0 以降にアップグレードします	13
ONTAP Select Deployのホスト管理サーバを変更する	18
Deploy ユーティリティ	19
ONTAP Select Deployインスタンスのアップグレード	19
ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する	21
導入するONTAP Selectイメージの追加	23
DeployからのONTAP Selectイメージの削除	25
2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする	26

CLI を使用します

SSHを使用したONTAP Select Deployへのサインイン

SSH を使用して Deploy 管理シェルにサインインする必要があります。サインインしたら、問題 CLI コマンドを使用して ONTAP Select クラスタを作成し、関連する管理手順を実行できます。

作業を開始する前に

Deploy 管理者 (admin) アカウントの現在のパスワードが必要です。初めてサインインし、vCenter を使用して Deploy 仮想マシンをインストールする場合は、インストール時に設定したパスワードを使用してください。

手順

1. Deploy 仮想マシンの管理者アカウントと管理 IP アドレスを使用してサインインします。次に例を示します。
ssh admin@<10.235.82.22>
2. 初めてサインインしたときに、vCenter で使用できるウィザードを使用して Deploy をインストールしなかった場合は、プロンプトが表示されたら次の設定情報を入力します。
 - 管理者アカウントの新しいパスワード (必須)
 - 会社名 (必須)
 - プロキシ URL (オプション)
3. 「* ? *」と入力し、Enter キーを押すと、使用可能な管理シェルコマンドのリストが表示されます。

CLIを使用したONTAP Selectクラスタの導入

ONTAP Select Deploy 管理ユーティリティに付属のコマンドラインインターフェイスを使用して、シングルノードまたはマルチノードの ONTAP Select クラスタを作成できます。

ステップ1: 展開の準備

ハイパーバイザーでONTAP Selectクラスタを作成する前に、必要な準備について理解しておく必要があります。

手順

1. ONTAP Selectノードにストレージを接続する準備

ハードウェアRAID

ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用する場合は、少なくとも1つのデータストア (ESX) または1つの["ストレージプール \(KVM\)"](#) 各ノードでは、システム データだけでなく、ルートとデータ アグリゲートも保存されます。ONTAP Selectノードの設定の一環として、ストレージプールを接続する必要があります。

ソフトウェア RAID

ソフトウェアRAIDを使用する場合は、少なくとも1つのデータストア (ESX) または1つの["ストレージプール \(KVM\)"](#) システム データ用であり、ルートおよびデータ アグリゲート用に SSD ドライブが使用可能であることを確認します。ONTAP Selectノードの設定の一環として、ストレージプールとディスクを接続する必要があります。

2. 使用可能な ONTAP Select バージョン

Deploy 管理ユーティリティには、単一バージョンの ONTAP Select が含まれています。以前のバージョンのONTAP Selectを使用してクラスタを導入する場合は、まず["ONTAP Selectイメージを追加する"](#)デプロイインスタンスに追加します。

3. 本番環境用のライセンスONTAP Select

本番環境に ONTAP Select クラスタを導入する前に、ストレージ容量ライセンスを購入し、関連するライセンスファイルをダウンロードする必要があります。あなたはできる["各ノードのストレージにライセンスを付与する" Capacity Tiers モデル](#)を使用するか、[Capacity Pools モデル](#)を使用して共有プールのライセンスを取得します。

ステップ2: ライセンスファイルをアップロードして登録する

ストレージ容量を含むライセンスファイルを取得したら、ライセンスを含むファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードして登録する必要があります。



クラスタを評価用に導入する場合は、この手順を省略できます。

作業を開始する前に

admin ユーザアカウントのパスワードが必要です。

手順

1. ローカルワークステーション上のコマンドシェルで、 sftp ユーティリティを使用して、ライセンスファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

出力例

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put NLF-320000nnn.txt
exit
```

2. SSH を使用して、管理者アカウントで Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。

3. ライセンスを登録します。

```
license add -file-name <file_name>
```

プロンプトが表示されたら、管理者アカウントのパスワードを入力します。

4. システムのライセンスを表示して、ライセンスが正しく追加されたことを確認します。

```
license show
```

ステップ3: ハイパーバイザーホストを追加する

ONTAP Select ノードを実行する各ハイパーバイザーホストを登録する必要があります。

KVM の略

ONTAP Selectノードを実行するハイパーバイザーホストを登録する必要があります。この一環として、Deploy管理ユーティリティはKVMホストに対して認証します。

このタスクについて

複数のハイパーバイザーホストが必要な場合は、この手順を使用して各ホストを追加します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. ホストを登録します。

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type KVM -username  
<KVM_username>
```

出力例

```
host register -name 10.234.81.14 -hypervisor-type KVM -username root
```

プロンプトが表示されたら、ホストアカウントのパスワードを入力します。

3. ホストの状態を表示し、認証されていることを確認します。

```
host show -name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例

```
host show -name 10.234.81.14 -detailed
```

ESXi

この一部として、 Deploy 管理ユーティリティは、ホストを管理する vCenter Server への認証、または ESXi スタンドアロンホストへの直接の認証を行います。

このタスクについて

vCenter で管理されているホストを登録する前に、 vCenter Server 用の管理サーバアカウントを追加する必要があります。ホストが vCenter で管理されていない場合は、ホストを登録する際にホストのクレデンシャルを指定できます。この手順を使用して各ホストを追加します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. ホストが vCenter サーバで管理されている場合は、 vCenter アカウントのクレデンシャルを追加します。

```
credential add -hostname <FQDN|IP> -type vcenter -username  
<vcenter_username>
```

出力例

```
credential add -hostname vc.select.company-demo.com -type vcenter  
-username administrator@vsphere.local
```

3. ホストを登録します。

- vCenterで管理されていないスタンドアロンホストを登録します。

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type ESX -username  
<esx_username>
```

- vCenterで管理されているホストを登録します。

```
host register -name <FQDN|IP> -hypervisor-type ESX -mgmt-server  
<FQDN|IP>
```

出力例

```
host register -name 10.234.81.14 -hypervisor-type ESX -mgmt-server  
vc.select.company-demo.com
```

4. ホストの状態を表示し、認証されていることを確認します。

```
host show -name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例

```
host show -name 10.234.81.14 -detailed
```

ステップ4: ONTAP Selectクラスタを作成して設定する

ONTAP Select クラスタを作成し、設定する必要があります。クラスタを設定したら、個々のノードを設定できます。

作業を開始する前に

クラスターに含まれるノードの数を決定し、関連する構成情報を取得します。

このタスクについて

ONTAP Select クラスタを作成すると、Deploy ユーティリティは、指定したクラスタ名とノード数に基づいてノード名を自動的に生成します。Deploy は一意のノード識別子も生成します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. クラスタを作成します。

```
cluster create -name <cluster_name> -node-count <count>
```

出力例

```
cluster create -name test-cluster -node-count 1
```

3. クラスタを設定します。

```
cluster modify -name <cluster_name> -mgmt-ip <IP_address> -netmask <netmask> -gateway <IP_address> -dns-servers <FQDN|IP>_LIST -dns-domains <domain_list>
```

出力例

```
cluster modify -name test-cluster -mgmt-ip 10.234.81.20 -netmask 255.255.255.192 -gateway 10.234.81.1 -dns-servers 10.221.220.10 -dnsdomains select.company-demo.com
```

4. クラスタの設定と状態を表示します。

```
cluster show -name <cluster_name> -detailed
```

ステップ5: ONTAP Selectノードを構成する

ONTAP Select クラスタ内の各ノードを設定する必要があります。

作業を開始する前に

- ノードの構成情報をあることを確認します。

- 容量層または容量プールのライセンス ファイルが、展開ユーティリティでアップロードされ、インストールされていることを確認します。

このタスクについて

この手順を使用して各ノードを設定する必要があります。この例では、ノードに大容量階層ライセンスが適用されています。

手順

- 管理者アカウントで SSH を使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
- クラスタノードに割り当てられた名前を特定します。

```
node show -cluster-name <cluster_name>
```

- ノードを選択し、基本的な設定を実行します。

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -host-name
<FQDN|IP> -license-serial-number <number> -instance-type TYPE
-passthrough-disks false
```

出力例

```
node modify -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -host-name
10.234.81.14
-license-serial-number 32000nnnn -instance-type small -passthrough
-disks false
```

ノードの RAID 設定は、_passthrough-pdisks_parameter で示されます。ローカルハードウェア RAID コントローラを使用している場合、この値は「false」にする必要があります。ソフトウェア RAID を使用している場合、この値は「true」にする必要があります。

ONTAP Select ノードには大容量階層ライセンスが使用されます。

- ホストで使用可能なネットワーク設定を表示します。

```
host network show -host-name <FQDN|IP> -detailed
```

出力例

```
host network show -host-name 10.234.81.14 -detailed
```

- ノードのネットワーク設定を実行します。

ESXiホスト

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -mgmt-ip
IP -management-networks <network_name> -data-networks <network_name>
-internal-network <network_name>
```

KVMホスト

```
node modify -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -mgmt-ip
IP -management-vlans <vlan_id> -data-vlans <vlan_id> -internal-vlans
<vlad_id>
```

單一ノード クラスターを展開する場合は、内部ネットワークは必要ないため、「-internal-network」を削除する必要があります。

出力例

```
node modify -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -mgmt-ip
10.234.81.21
-management-networks sDOT_Network -data-networks sDOT_Network
```

6. ノードの設定を表示します。

```
node show -name <node_name> -cluster-name <cluster_name> -detailed
```

出力例

```
node show -name test-cluster-01 -cluster-name test-cluster -detailed
```

ステップ6: ONTAP Selectノードにストレージを接続する

ONTAP Selectクラスタ内の各ノードで使用されるストレージを設定します。すべてのノードには、必ず少なくとも1つのストレージプールを割り当てる必要があります。ソフトウェアRAIDを使用する場合は、各ノードに少なくとも1本のディスクドライブを割り当てる必要があります。

作業を開始する前に

VMware vSphere を使用してストレージ プールを作成します。ソフトウェアRAIDを使用する場合は、使用可能なディスクドライブが少なくとも1本必要です。

このタスクについて

ローカルハードウェアRAIDコントローラを使用する場合は、手順1₄を実行する必要があります。ソフトウェアRAIDを使用する場合は、手順1₆を実行する必要があります。

手順

1. 管理者アカウントのクレデンシャルを使用して、SSHを使用してDeployユーティリティのCLIにサインインします。
2. ホストで使用可能なストレージプールを表示します。

```
host storage pool show -host-name <FQDN|IP>
```

出力例

```
host storage pool show -host-name 10.234.81.14
```

VMware vSphere から使用可能なストレージプールを取得することもできます。

3. 使用可能なストレージプールを ONTAP Select ノードに接続します。

```
node storage pool attach -name <pool_name> -cluster-name <cluster_name>
-node-name <node_name> -capacity-limit <limit>
```

「-capacity-limit」 パラメータを含める場合は、値を GB または TB で指定します。

出力例

```
node storage pool attach -name sDOT-02 -cluster-name test-cluster -
-node-name test-cluster-01 -capacity-limit 500GB
```

4. ノードに接続されているストレージプールを表示します。

```
node storage pool show -cluster-name <cluster_name> -node-name
<node_name>
```

出力例

```
node storage pool show -cluster-name test-cluster -node-name
testcluster-01
```

5. ソフトウェアRAIDを使用している場合は、使用可能なドライブを接続します。

```
node storage disk attach -node-name <node_name> -cluster-name
<cluster_name> -disks <list_of_drives>
```

出力例

```
node storage disk attach -node-name NVME_SN-01 -cluster-name NVME_SN  
-disks 0000:66:00.0 0000:67:00.0 0000:68:00.0
```

6. ソフトウェアRAIDを使用している場合は、ノードに接続されているディスクを表示します。

```
node storage disk show -node-name <node_name> -cluster-name  
<cluster_name>
```

出力例

```
node storage disk show -node-name sdot-smicro-009a -cluster-name NVME
```

ステップ7: ONTAP Selectクラスタを導入する

クラスタとノードを設定したら、クラスタを導入できます。

作業を開始する前に

ネットワーク接続チェックを実行するには、 "[ウェブUI](#)" または "[CLI](#)" 内部ネットワーク上のクラスターノード間の接続を確認します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. ONTAP Select クラスタを導入します。

```
cluster deploy -name <cluster_name>
```

出力例

```
cluster deploy -name test-cluster
```

プロンプトが表示されたら、 ONTAP 管理者アカウントに使用するパスワードを指定します。

3. クラスタのステータスを表示して、導入が正常に完了したことを確認します。

```
cluster show -name <cluster_name>
```

次の手順

"ONTAP Select Deploy 構成データをバックアップします"。

ONTAP Select環境のセキュリティを確保

ONTAP Select 環境のセキュリティ保護の一環として実行できる関連タスクがいくつかあります。

Deploy管理者パスワードの変更

コマンドラインインターフェイスを使用して、 Deploy 仮想マシンの管理者アカウントのパスワードを必要に応じて変更できます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. パスワードを変更します :password modify
3. 環境に応じて、すべてのプロンプトに応答します。

ONTAP Selectノード間のネットワーク接続を確認する

内部クラスタネットワーク上にある 2 つ以上の ONTAP Select ノード間のネットワーク接続をテストできます。通常は、マルチノードクラスタの導入前にこのテストを実行して、原因で処理が失敗する可能性のある問題を検出します。

作業を開始する前に

テストに含まれるすべての ONTAP Select ノードを設定し、電源をオンにする必要があります。

このタスクについて

テストを開始するたびに、新しいプロセスがバックグラウンドで作成され、一意の実行識別子が割り当てられます。一度にアクティブにできるランは 1 つだけです。

テストには、次の 2 つのモードがあります。

- Quick このモードは、基本的な無停止テストを実行します。ping テストが、ネットワークの MTU サイズと vSwitch のテストとともに実行されます。
- Extended このモードでは、すべての冗長ネットワークパスでより包括的なテストが実行されます。アクティブな ONTAP Select クラスタでこのテストを実行すると、クラスタのパフォーマンスに影響する可能性があります。



マルチノードクラスタを作成する前には、必ずクイックテストを実行することを推奨します。クイックテストが正常に完了したら、本番環境の要件に基づいて拡張テストを実行することもできます。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、 Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. ネットワーク接続チェッカーの現在の実行を表示し、アクティブな実行がないことを確認します。

「 network connectivity-check show 」を参照してください

3. ネットワーク接続チェッカーを起動し、コマンド出力の実行識別子を確認します。

「 network connectivitycheck start-host-names hostnames hostnames -hosts-type vswitch _type-mode 」のように設定します

例

```
network connectivity-check start -host-names 10.234.81.14
10.234.81.15 -vswitch-type StandardVSwitch -mode quick
```

4. 実行識別子に基づいて、ネットワーク接続チェッカーの進捗状況を監視します。

「 network connectivity-check show-run-id run_ID 」

完了後

通常、ネットワーク接続チェッカーは、ONTAP 内部ポートグループに追加された一時ポートと IP アドレスを削除することによってクリーンアップされます。ただし、接続チェッカーが一時ポートの削除に失敗した場合は、CLI コマンドを「-mode cleanup」オプションで再実行して、手動でクリーンアップ処理を実行する必要があります。ONTAP 内部ポートグループから一時ポートを削除しないと、ONTAP Select 仮想マシンが正常に作成されないことがあります。

CLIを使用してONTAP Selectクラスタを管理する

CLI を使用してONTAP Selectクラスタを管理するために実行できる関連タスクがいくつかあります。

ONTAP Select Deploy 構成データをバックアップします

たとえば、クラスタを展開した後などのONTAP Select Deploy 構成データのバックアップ。データは単一の暗号化ファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

作成するバックアップファイルには、すべての構成データがキャプチャされます。このデータは、ONTAP Selectクラスタを含む導入環境のさまざまな側面を表します。

作業を開始する前に

Deploy はバックアップ処理中に他のタスクを実行しないでください。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用してONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI にSign in。
2. ONTAP Select Deploy サーバの内部ディレクトリに保存されているONTAP Select Deploy 構成データのバックアップを作成します。

```
deploy backup create
```

3. プロンプトが表示されたら、バックアップのパスワードを入力します。

バックアップファイルは、パスワードに基づいて暗号化されます。

4. システムで使用可能なバックアップを表示します。

```
deploy backup show -detailed
```

5. [作成日] フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、*ダウンロード URL* の値を記録します。

バックアップファイルには、URL からアクセスできます。

6. Curl などの Web ブラウザまたはユーティリティを使用して、URL を指定してバックアップファイルをオカルワークステーションにダウンロードします。

ONTAP Select クラスタを削除する

不要になった ONTAP Select クラスタを削除できます。

作業を開始する前に

クラスタをオフライン状態にする必要があります。

手順

1. 管理者アカウントを使用して、Deploy 仮想マシンの CLI にサインインします。

2. クラスターのステータスを表示します。

```
cluster show -name <cluster_name>
```

3. クラスターがオフラインでない場合は、オフライン状態に移行します。

```
cluster offline -name <cluster_name>
```

4. クラスターがオフライン状態であることを確認した後、クラスターを削除します。

```
cluster delete -name <cluster_name>
```

ノードとホスト

ONTAP Select の VMware ESXi 8.0 以降にアップグレードします

ONTAP Select を VMware ESXi 上で実行している場合は、ESXi ソフトウェアを以前のサ

ポート対象バージョンからESXi 8.0以降にアップグレードできます。アップグレードする前に、プロセスを理解し、適切なアップグレード手順を選択してください。

VMware ESXi のアップグレードの準備

ONTAP Selectクラスタをホストしているハイパーバイザー上の ESXi ソフトウェアをアップグレードする前に、環境に適したアップグレード手順を準備して選択します。

手順

1. VMware ESXi のアップグレード方法を理解する

ESXi ソフトウェアのアップグレードは、VMware で説明され、サポートされているプロセスです。ハイパーバイザーのアップグレードプロセスは、ONTAP Select を使用する場合の大規模なアップグレード手順の一部です。詳細については、VMware のドキュメントを参照してください。

2. アップグレード手順を選択してください

いくつかのアップグレード手順があります。次の基準に基づいて、該当する手順を選択する必要があります。

- ONTAP Selectクラスタサイズ

單一ノード クラスターと複数ノード クラスターの両方がサポートされています。

- ONTAP Select Deployの使用

アップグレードは、デプロイ ユーティリティの有無にかかわらず可能です。



Deploy 管理ユーティリティを使用するアップグレード手順を選択する必要があります。

Deploy 管理ユーティリティを使用してESXiのアップグレードを実行する方が、より汎用的で復元力の高いオプションです。ただし、デプロイが利用できない、または使用できない場合があります。例えば、ESXi 8.0へのアップグレードは、以前のバージョンのONTAP SelectおよびDeploy管理ユーティリティではサポートされていません。

これらの旧バージョンを使用している場合にアップグレードを試行すると、ONTAP Select 仮想マシンをブートできない状態のままにすることができます。この場合は、Deploy を使用しないアップグレード手順を選択する必要があります。を参照してください ["1172198"](#) を参照してください。

3. デプロイ管理ユーティリティをアップグレードする

Deploy ユーティリティを使用してアップグレード手順を実行する前に、Deploy インスタンスをアップグレードする必要があります。通常は、最新バージョンのDeployにアップグレードしてください。Deployユーティリティは、使用しているONTAP Selectのバージョンをサポートしている必要があります。参照["ONTAP Selectリリースノート"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。

4. アップデート手順が完了したら

Deploy ユーティリティを使用するアップグレード手順を選択する場合は、すべてのノードをアップグレードしたあとに、Deploy を使用してクラスタの更新処理を実行する必要があります。詳細については、Deploy クラスタ設定の更新を参照してください。

Deployを使用したシングルノードクラスタのアップグレード

Deploy 管理ユーティリティは、手順 の一部として使用して、ONTAP Select シングルノードクラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードできます。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. ノードをオフライン状態に移動します。

```
node stop --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。
4. ノードをオンライン状態に移動します。

```
node start --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

5. ノードが起動したら、クラスタが正常であることを確認します。

例：

```
ESX-1N::> cluster show
Node          Health  Eligibility
-----
sdot-d200-011d  true    true
```

完了後

Deploy 管理ユーティリティを使用してクラスタの更新処理を実行する必要があります。

Deployを使用したマルチノードクラスタのアップグレード

Deploy 管理ユーティリティは、手順 の一部として使用して、ONTAP Select マルチノードクラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーをアップグレードできます。

このタスクについて

このアップグレード手順 は、クラスタ内のノードごとに 1 つずつ実行する必要があります。クラスタに 4 つ以上のノードがある場合は、各 HA ペアのノードを次の HA ペアに進む前に順番にアップグレードしてください。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. ノードをオフライン状態に移動します。

```
node stop --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。

詳細については、「VMware ESXi のアップグレードの準備」を参照してください。

4. ノードをオンライン状態に移動します。

```
node start --cluster-name <cluster_name> --node-name <node_name>
```

5. ノードが起動したら、ストレージフェイルオーバーが有効になっていてクラスタが正常に動作していることを確認します。

例を表示

```
ESX-2N_I2_N11N12::> storage failover show
Takeover
Node Partner Possible State Description
-----
sdot-d200-011d sdot-d200-012d true Connected to sdot-d200-012d
sdot-d200-012d sdot-d200-011d true Connected to sdot-d200-011d
2 entries were displayed.

ESX-2N_I2_N11N12::> cluster show
Node Health Eligibility
-----
sdot-d200-011d true true
sdot-d200-012d true true
2 entries were displayed.
```

完了後

アップグレード手順は、ONTAP Select クラスタで使用するホストごとに実行する必要があります。すべての ESXi ホストをアップグレードしたら、Deploy 管理ユーティリティを使用してクラスタの更新処理を実行する必要があります。

Deployを使用しないシングルノードクラスタのアップグレード

ONTAP Select シングルノードクラスタをホストしている VMware ESXi ハイパーバイザーは、Deploy 管理ユーティリティを使用せずにアップグレードできます。

手順

1. ONTAP のコマンドラインインターフェイスにサインインしてノードを停止します。
2. VMware vSphere を使用して、ONTAP Select 仮想マシンの電源がオフになっていることを確認します。

3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。

詳細については、「VMware ESXi のアップグレードの準備」を参照してください。

4. VMware vSphere を使用して vCenter にアクセスし、次の手順を実行します。
 - a. ONTAP Select 仮想マシンにフロッピードライブを追加します。
 - b. ONTAP Select 仮想マシンの電源をオンにします。
 - c. 管理者アカウントで SSH を使用して ONTAP CLI にサインインします。
5. ノードが起動したら、クラスタが正常であることを確認します。

例：

```
ESX-1N::> cluster show
Node          Health  Eligibility
-----
sdot-d200-011d  true    true
```

完了後

Deploy 管理ユーティリティを使用してクラスタの更新処理を実行する必要があります。

Deployを使用しないマルチノードクラスタのアップグレード

ONTAP Select マルチノードクラスタをホストする VMware ESXi ハイパーバイザーは、Deploy 管理ユーティリティを使用せずにアップグレードできます。

このタスクについて

このアップグレード手順は、クラスタ内のノードごとに1つずつ実行する必要があります。クラスタに4つ以上のノードがある場合は、各 HA ペアのノードを次の HA ペアに進む前に順番にアップグレードしてください。

手順

1. ONTAP のコマンドラインインターフェイスにサインインしてノードを停止します。
2. VMware vSphere を使用して、ONTAP Select 仮想マシンの電源がオフになっていることを確認します。
3. VMware が提供する手順を使用して、ONTAP Select が実行されているハイパーバイザー ホストを ESXi 8.0 以降にアップグレードします。
4. VMware vSphere を使用して vCenter にアクセスし、次の手順を実行します。
 - a. ONTAP Select 仮想マシンにフロッピードライブを追加します。
 - b. ONTAP Select 仮想マシンの電源をオンにします。
 - c. 管理者アカウントで SSH を使用して ONTAP CLI にサインインします。
5. ノードが起動したら、ストレージフェイルオーバーが有効になっていてクラスタが正常に動作していることを確認します。

例を表示

```
ESX-2N_I2_N11N12::> storage failover show
Takeover
Node Partner Possible State Description
-----
sdot-d200-011d sdot-d200-012d true Connected to sdot-d200-012d
sdot-d200-012d sdot-d200-011d true Connected to sdot-d200-011d
2 entries were displayed.
ESX-2N_I2_N11N12::> cluster show
Node Health Eligibility
-----
sdot-d200-011d true true
sdot-d200-012d true true
2 entries were displayed.
```

完了後

アップグレード手順は、ONTAP Select クラスタで使用するホストごとに実行する必要があります。

ONTAP Select Deployのホスト管理サーバを変更する

を使用できます `host modify` コマンドを使用して、このONTAP Select Deployインスタンスでホスト管理サーバを変更します。

構文

```
host modify [-help] [-foreground] -name name -mgmt-server management_server [-username username]
```

必須パラメータ

パラメータ	説明
<code>-name <i>name</i></code>	変更するホストのIPアドレスまたはFQDN。
<code>-mgmt-server <i>management_server</i></code>	ホストに設定するホスト管理サーバのIPアドレスまたはFQDN。ホストから管理サーバの設定を解除するには、（ハイフン）を指定してください。を使用してこのホストを登録する前に、この管理サーバのクレデンシャルを追加する必要があります <code>credential add</code> コマンドを実行します

オプションのパラメータ

パラメータ	説明
-------	----

-help	ヘルプメッセージを表示します。
-foreground	このパラメータは、長時間実行するコマンドの動作を制御します。設定すると、コマンドがフォアグラウンドで実行され、処理に関連するイベントメッセージが発生したときに表示されます。
-username <i>username</i>	このホストにアクセスできるユーザ名。これは、ホストが管理サーバ（つまりvCenterで管理されるESXホスト）で管理されていない場合にのみ必要です。

Deploy ユーティリティ

ONTAP Select Deployインスタンスのアップグレード

ONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI を使用して、既存の ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンをインプレースでアップグレードします。

作業を開始する前に

アップグレード中に ONTAP Select Deploy が他のタスクの実行に使用されていないことを確認します。ONTAP Select Deploy ユーティリティのアップグレードに関する情報と制限事項については、"リリースノート"を参照してください。

ONTAP Select Deploy管理ユーティリティの古いインスタンスがインストールされている場合は、現在のリリースにアップグレードする必要があります。ONTAP SelectノードとONTAP Select Deployコンポーネントは個別にアップグレードされます。を参照してください ["ONTAP Selectノードをアップグレードする"](#) を参照してください。



ONTAP Select Deploy 9.17.1 または 9.16.1 からONTAP Select Deploy 9.18.1 に直接アップグレードできます。ONTAP Select Deploy 9.15.1 以前からアップグレードするには、ONTAP Selectバージョンのリリース ノートを確認してください。

ステップ1：アップグレードパッケージをダウンロードする

アップグレードプロセスを開始するには、NetApp Support SiteからONTAP Select Deployアップグレードファイルをダウンロードします。アップグレードパッケージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされます。

手順

1. ["NetApp Support Site ダウンロード"](#)ページにアクセスします。
2. 下にスクロールして*ONTAP Select Deploy*を選択してください。
3. 希望する ONTAP Select バージョンを選択してください。
4. エンドユーザライセンス契約 (EULA) を確認し、*同意して続行*を選択します。
5. 適切な*ONTAP Select Deploy Upgrade*パッケージを選択してダウンロードします。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2: ONTAP Select Deploy仮想マシンにパッケージをアップロードする

パッケージをダウンロードしたら、そのファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

このタスクについて

このタスクでは、ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードする 1 つの方法について説明します。ご使用の環境に適した他のオプションがある可能性があります。

作業を開始する前に

- ・アップグレード ファイルがローカル ワークステーションで使用可能であることを確認します。
- ・管理者ユーザー アカウントのパスワードがあることを確認します。

手順

1. ローカルワークステーションのコマンドシェルで、 `scp` (Secure Copy Protocol) ユーティリティを使用して、次の例に示すように、イメージ ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
scp ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz admin@10.228.162.221:/home/admin  
(provide password when prompted)
```

結果

アップグレードファイルは、 admin ユーザのホームディレクトリに格納されます。

ステップ3: アップグレードパッケージを適用する

アップグレード ファイルをONTAP Select Deploy 仮想マシンにアップロードしたら、アップグレードを適用できます。

作業を開始する前に

- ・ONTAP Select Deploy ユーティリティ仮想マシンのどのディレクトリにアップグレード ファイルが配置されているかを確認します。
- ・アップグレードの実行中に、 ONTAP Select Deploy を使用して他のタスクが実行されていないことを確認します。

手順

1. 管理者アカウントで SSH を使用してONTAP Select Deploy ユーティリティ CLI にSign in。
2. 適切なディレクトリパスとファイル名を使用してアップグレードを実行します。

```
deploy upgrade -package-path <file_path>
```

コマンド例:

```
deploy upgrade -package-path /home/admin/ONTAPdeploy2.12_upgrade.tar.gz
```

完了後

アップグレード手順が完了する前に、ONTAP Select Deploy 仮想マシン構成のバックアップを作成するよう求められます。また、新しく作成されたONTAP Select Deploy ページを表示できるように、ブラウザのキャッシュをクリアする必要があります。

ONTAP Select Deployインスタンスを新しい仮想マシンに移行する

コマンドラインインターフェイスを使用して、Deploy 管理ユーティリティの既存のインスタンスを新しい仮想マシンに移行できます。

この手順は、元の仮想マシンの設定データを使用する新しい仮想マシンの作成に基づいています。新しい仮想マシンと元の仮想マシンで実行する Deploy ユーティリティのバージョンとリリースが同じである必要があります。バージョンとリリースが異なる Deploy ユーティリティに移行することはできません。

ステップ1: デプロイ構成データをバックアップする

仮想マシンの移行の一環として、Deploy の設定データのバックアップを作成する必要があります。また、ONTAP Select クラスタを導入したあとにバックアップを作成する必要があります。データは単一の暗号化ファイルに保存され、ローカルワークステーションにダウンロードできます。

作業を開始する前に

- Deploy はバックアップ処理中に他のタスクを実行しないでください。
- 元のDeploy仮想マシンイメージを保存します。



Deployの設定データを元の仮想マシンから新しい仮想マシンにリストアする場合は、この手順の後半の工程で元のDeploy仮想マシンイメージが必要です。

このタスクについて

作成するバックアップファイルには、仮想マシンのすべての設定データがキャプチャされます。このデータには、ONTAP Select クラスタを含む導入環境の要素が説明されています。

手順

- 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
- Deploy サーバの内部ディレクトリに格納されている Deploy の設定データのバックアップを作成します。

```
deploy backup create
```

- プロンプトが表示されたら、バックアップのパスワードを入力します。

バックアップファイルは、パスワードに基づいて暗号化されます。

- システムで使用可能なバックアップを表示します。

```
deploy backup show -detailed
```

5. [作成日] フィールドの日付に基づいてバックアップファイルを選択し、* ダウンロード URL * の値を記録します。
バックアップファイルには、URL からアクセスできます。
6. Curl などの Web ブラウザまたはユーティリティを使用して、URL を指定してバックアップファイルをローカルワークステーションにダウンロードします。

ステップ2: Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスをインストールする

Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成する必要があります。このインスタンスは、元の仮想マシンの設定データを使用して更新できます。

作業を開始する前に

VMware 環境で ONTAP Select Deploy 仮想マシンのダウンロードと導入に使用する手順を理解しておく必要があります。

このタスクについて

このタスクについては大まかに説明します。

手順

1. Deploy 仮想マシンの新しいインスタンスを作成します。
 - a. 仮想マシンイメージをダウンロードします。
 - b. 仮想マシンを導入し、ネットワークインターフェイスを設定します。
 - c. SSH を使用して Deploy ユーティリティにアクセスします。

関連情報

["ONTAP Select Deploy をインストールする"](#)

ステップ3: デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する

元の Deploy ユーティリティの仮想マシンの設定データを新しい仮想マシンにリストアする必要があります。データは、ローカルワークステーションからアップロードする必要のある 1 つのファイルに格納されます。

作業を開始する前に

以前のバックアップの設定データが必要です。データは 1 つのファイルに格納され、ローカルワークステーションで使用できる必要があります。

手順

1. 次の例に示すように、ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、sftp ユーティリティを使用して、バックアップ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put deploy_backup_20190601162151.tar.gz
exit
```

2. 管理者アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。

3. 構成データを復元します。

```
deploy backup restore -path <path_name> -filename <file_name>
```

コマンド例:

```
'deploy backup restore-path/home/admin-filename deploy_20180601162151.tar.gz
```

導入するONTAP Selectイメージの追加

ONTAP Select イメージを Deploy 管理ユーティリティのインスタンスに追加します。イメージをインストールしたら、ONTAP Select クラスタの導入時に使用できます。

作業を開始する前に

新しいONTAP Select イメージを Deploy に追加する前に、不要なイメージを削除する必要があります。



ONTAP Select イメージは、Deploy ユーティリティのインスタンスに含まれている元のバージョンよりも前のバージョンでのみ追加してください。ネットアップから提供される新しいバージョンのONTAP Selectは、サポートされていない構成では追加できません。

ステップ1: インストールイメージをダウンロードする

ONTAP Select イメージを Deploy ユーティリティのインスタンスに追加するプロセスを開始するには、ネットアップサポートサイトからインストールイメージをダウンロードする必要があります。ONTAP Select インストールイメージは、単一の圧縮ファイルとしてフォーマットされています。

手順

1. ["NetApp Support Site ダウンロード"ページ](#)にアクセスします。
2. 下にスクロールして、* ONTAP Select Image *を選択します。
3. インストールイメージの目的のリリースを選択します。
4. エンドユーザライセンス契約 (EULA) を確認し、*同意して続行*を選択します。
5. 適切な*ONTAP Select Image Install*パッケージを選択してダウンロードしてください。必要に応じてすべてのプロンプトに応答します。

ステップ2: インストールイメージをデプロイにアップロードする

ONTAP Select インストールイメージを取得したら、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする必要があります。

作業を開始する前に

ローカルワークステーションにインストールイメージファイルがあることを確認します。Deploy 管理者ユーザー アカウントのパスワードも必要です。

このタスクについて

このタスクは、ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードする方法の 1 つです。ご使用の環境に適したその他のオプションがある場合もあります。

ステップ

1. ローカル ワークステーションのコマンド シェルで、次の例に示すように、イメージ ファイルを Deploy 仮想マシンにアップロードします。

```
scp image_v_93_install_esx.tgz admin@10.234.81.101:/home/admin (provide password when prompted)
```

```
sftp admin@10.234.81.101 (provide password when prompted)
put image_v_93_install_esx.tgz
exit
```

結果

ノードインストールファイルは、管理者ユーザのホームディレクトリに格納されます。

ステップ3: インストールイメージを追加する

新しいクラスタを展開するときに使用できるように、ONTAP Selectインストールイメージを Deploy イメージ ディレクトリに追加します。

作業を開始する前に

Deploy ユーティリティの仮想マシンでインストールイメージファイルを配置したディレクトリを確認しておく必要があります。このファイルは、管理者のホームディレクトリにあると想定されます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントで SSH を使用して、Deploy ユーティリティの CLI にサインインします。
2. Bash シェルを起動します。

```
shell bash
```

3. 次の例に示すように、インストール イメージ ファイルを images ディレクトリに配置します。

```
tar -xf image_v_93_install_esx.tgz -C /opt/netapp/images/
```

ステップ4: 利用可能なインストールイメージを表示する

新しいクラスタを展開するときに使用できるONTAP Selectイメージを表示します。

手順

1. Deploy ユーティリティの仮想マシンのオンラインドキュメントの Web ページにアクセスし、管理者（admin）アカウントを使用してサインインします。

[http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui`](http://<FQDN|IP_ADDRESS>/api/ui) にアクセスします

Deploy 仮想マシンのドメイン名または IP アドレスを使用してください。

2. ページの下部に移動して **デプロイ** を選択し、次に **GET /images** を選択します。
3. 利用可能なONTAP Selectイメージを表示するには、「試してみる」を選択します。
4. 目的のイメージが使用可能であることを確認します。

DeployからのONTAP Selectイメージの削除

不要になったONTAP Selectイメージは、Deploy管理ユーティリティのインスタンスから削除できます。



クラスタで使用中のONTAP Selectイメージを削除しないでください。

このタスクについて

クラスタで現在使用されていない、または将来のクラスタ導入で使用する予定の古いONTAP Selectイメージを削除できます。

手順

1. 管理者（admin）アカウントでSSHを使用して、DeployユーティリティのCLIにサインインします。
2. Deployで管理されるクラスタを表示して、使用中のONTAPイメージを記録します。

```
cluster show
```

各ケースのバージョン番号とハイパーバイザープラットフォームをメモします。

3. Bashシェルを起動します。

```
shell bash
```

4. 使用可能なすべてのONTAP Selectイメージを表示します。

```
ls -lh /opt/netapp/images
```

5. 必要に応じて、ハイパーバイザーホストからONTAP Selectイメージを削除します。

ESXiノレイ

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-vidconsole-esx.ova
```

KVMの例

```
rm -r /opt/netapp/images/DataONTAPv-9.3RC1-serialconsole-kvm.raw.tar
```

2ノードクラスタのONTAP Select Deployユーティリティをリカバリする

ONTAP Select Deploy ユーティリティに障害が発生した場合や、何らかの理由でユーティリティが使用できない場合は、ONTAP Select のノードとクラスタを管理できなくなります。また、Deploy に含まれるメディエーターサービスを使用できないため、すべての 2 ノードクラスタの HA 機能が失われます。リカバリ不能な障害が発生した場合は、Deploy ユーティリティのインスタンスをリカバリして、管理と HA の機能をリストアする必要があります。

デプロイユーティリティの回復の準備

デプロイ ユーティリティのインスタンスの回復を確実に成功させるには、その前に準備を行う必要があります。いくつかの管理手順に精通し、必要な情報を把握している必要があります。

手順

1. ハイパーバイザー環境にONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスをインストールできることを確認します。
- ["ONTAP Select Deployユーティリティのインストールについて学習します"](#)
2. ONTAP Selectクラスタにログインし、ONTAPクラスタ シェル (CLI) にアクセスできることを確認します。
3. ONTAP Select 2 ノード クラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティ インスタンスからの構成データのバックアップがあるかどうかを確認します。クラスタが含まれていないバックアップがある可能性があります。
4. 使用した回復手順に応じて、デプロイ構成データのバックアップを復元できることを確認します。

"デプロイ構成データを新しい仮想マシンに復元する方法について説明します。"

5. 失敗した元の Deploy ユーティリティ仮想マシンの IP アドレスがわかります。
6. 容量プールまたは容量階層ライセンスが使用されているかどうかを決定します。容量プールライセンスを使用する場合は、デプロイインスタンスを復旧またはリストアした後、各容量プールライセンスを再インストールする必要があります。
7. ONTAP Select Deploy ユーティリティのインスタンスをリカバリするときに使用する手順を決定します。この決定は、ONTAP Selectの2ノードクラスタを含む、障害が発生した元のDeployユーティリティの設定データのバックアップがあるかどうかに基づいて行われます。

2 ノードクラスタを含む Deploy のバックアップがあるか	回復手順を使用します...
はい。	設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア
いいえ	Deployユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする

設定のバックアップを使用したDeployユーティリティのインスタンスのリストア

2 ノードクラスタを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティのインスタンスのバックアップがある場合は、新しい Deploy 仮想マシンのインスタンスに設定データをリストアできます。次に、ONTAP Select クラ

スタ内 の 2 つのノードの追加設定を実行して、リカバリを完了する必要があります。

作業を開始する前に

2 ノード クラスターを含む元の失敗したデプロイ仮想マシンから構成データをバックアップします。ノード クラスターのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。

このタスクについて

リストアする設定のバックアップには 2 ノードクラスターが含まれているため、メディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスは、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンに再作成されます。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。

a. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンをインストールします。

b. Deploy の設定を以前のバックアップから新しい仮想マシンにリストアします。

インストールとリストアの手順の詳細については、関連するタスクを参照してください。

2. ONTAP Select の 2 ノードクラスターの ONTAP コマンドラインインターフェイスにサインインします。

3. advanced 権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、古いメディエーター iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加します。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

「<IP_address>」 パラメータは、新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスです。

これらのコマンドを使用すると、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシン上のメールボックスディスクを ONTAP Select ノードで検出できます。

5. メディエーターディスクの名前を特定します。

```
disk show -container-type mediator
```

6. メールボックスディスクを 2 つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>  
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

7. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

完了後

容量プール ライセンスを使用する場合は、各容量プール ライセンスを再インストールします。見る"容量プールライセンスの再インストール"詳細については、こちらをご覧ください。

Deploy ユーティリティのインスタンスを再設定してリカバリする

2 ノード クラスターを含む、障害が発生した Deploy ユーティリティ インスタンスのバックアップがない場合は、新しい Deploy 仮想マシンでメディエーター iSCSI ターゲットとメールボックスを構成します。次に、ONTAP Select クラスタ内の 2 つのノードの追加構成を実行して、リカバリを完了します。

作業を開始する前に

新しいデプロイ ユーティリティ インスタンスのメディエーター ターゲットの名前があることを確認します。ノードクラスタのONTAP CLIにサインインでき、2つのノードのONTAP名を知っている必要があります。

このタスクについて

必要に応じて、設定のバックアップを新しい Deploy 仮想マシンにリストアできます。2 ノードクラスタがバックアップに含まれていなくてもリストアは可能です。リストアで 2 ノードクラスタが再作成されることはないとため、Deploy の ONTAP Select オンラインドキュメントの Web ページを使用して、メディエーターの iSCSI ターゲットとメールボックスを新しい Deploy ユーティリティのインスタンスに手動で追加する必要があります。2 ノードクラスタにサインインし、2 つのノードの ONTAP 名を確認しておく必要があります。



リカバリ手順 の目的は、2 ノードクラスタを正常な状態にリストアして、通常の HA テイクオーバー処理とギブバック処理を実行できるようにすることです。

手順

1. ONTAP Select Deploy ユーティリティの新しいインスタンスを準備します。
 - a. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンをインストールします。
 - b. 必要に応じて、Deploy の設定を以前のバックアップから新しい仮想マシンにリストアします。

以前のバックアップをリストアする場合、新しい Deploy インスタンスには 2 ノードクラスタが含まれません。インストールとリストアの手順の詳細については、関連情報のセクションを参照してください。
2. ONTAP Select の 2 ノードクラスタの ONTAP コマンドラインインターフェイスにサインインします。
3. advanced 権限モードに切り替えます。

```
set adv
```

4. メディエーターの iSCSI ターゲット名を取得します。

```
storage iscsi-initiator show -target-type mailbox
```

5. 新しい Deploy ユーティリティの仮想マシンのオンラインドキュメント Web ページにアクセスし、admin アカウントを使用してサインインします。

http://<ip_address>/api/ui にアクセスします

Deploy 仮想マシンの IP アドレスを使用する必要があります。

6. **Mediator** を選択し、**GET /mediators** を選択します。

7. *試してみる*を選択すると、Deploy によって管理されるメディエーターのリストが表示されます。

目的のメディエーターインスタンスの ID をメモします。

8. **Mediator** を選択し、次に **POST** を選択します。

9. **mediator_id** の値を指定します

10. 横にある*モデル*を選択してください `iscsi_target` 名前の値を完了します。

iqn 名前パラメータのターゲット名を使用します。

11. 試してみる を選択して、メディエーター iSCSI ターゲットを作成します。

要求が成功すると、HTTP ステータスコード 200 が表示されます。

12. 新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスが元の Deploy 仮想マシンと異なる場合は、ONTAP の CLI を使用して、古いメディエーターの iSCSI ターゲットを削除し、新しいターゲットを追加する必要があります。

```
storage iscsi-initiator remove-target -node * -target-type mailbox
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node1_name> -label mediator
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

```
storage iscsi-initiator add-target -node <node2_name> -label mediator-
-target-type mailbox -target-portal <ip_address> -target-name <target>
```

「<IP_address>」パラメータは、新しい Deploy 仮想マシンの IP アドレスです。

これらのコマンドを使用すると、新しい Deploy ユーティリティの仮想マシン上のメールボックスディス

クを ONTAP Select ノードで検出できます。

13. メディエーターディスクの名前を特定します。

```
disk show -container-type mediator`
```

14. メールボックスディスクを 2 つのノードに割り当てます。

```
disk assign -disk <mediator-disk1-name> -owner <node1-name>
```

```
disk assign -disk <mediator-disk2-name> -owner <node2-name>
```

15. ストレージフェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

```
storage failover show
```

完了後

容量プール ライセンスを使用する場合は、各容量プール ライセンスを再インストールします。見る["容量プールライセンスの再インストール"](#)詳細については、こちらをご覧ください。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。